

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.14】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は2人家族の世帯です。

電気生ごみ処理機に対する印象や考え方について質問したところ、使用前には、もっと生ごみを乾燥できるものと考えていたが、食材によっては乾燥しきれないものもあることから、ごみ削減の「補助的」なツールだと感じているそうです。

電気代については、他の電気製品の使用頻度の増加もあるため単純な比較とはなりません、ひと月あたり2000円程度上昇したそうです。

暑い季節には、処理後のごみを袋に入れたまま台所に置いても、ほとんど臭いがしないため、処理機の効果を実感したそうですが、賞味期限切れの生わかめを処理機に投入したところ、処理中・処理後ともに臭いがきつく、やはり魚介類や海藻類は処理機には不向きだと実感したそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp